令和４年度　長崎県立長崎工業高等学校　学校評価　（年間評価集計）

令和５年２月実施　対象者：本校職員９４名
評価は　十分達成4点、ほぼ達成3点、やや不十分2点、不十分1点の4段階で行い、その平均を評価点としている。

校　　訓	「技術の真髄をつかめ」－APPREHENDITE COR ARTIS－
教育方針	広い視野と旺盛な創造力を持ち、豊かな人間愛に満ちた、心身ともにたくましい工業技術人の育成を図る。
教育目標	（１）幅広い知識と教養を身につけ、真理を探求する態度を養う。 （２）高度な技術と技能を身につけ、自信に満ちた工業技術者を育てる。 （３）豊かな情操と道徳心を培い、思いやりに満ちた人間性を養う。 （４）規範意識を身につけさせるとともに勤労を重んずる態度を養う。 （５）スポーツ精神を高揚し、健やかな身体を養う。 （６）郷土を愛し、伝統と文化を重んじる態度を養う。 （７）国際社会の発展に寄与する人材を育てる。
本年度の重点目標	長工で人生を生き抜く　全ての力を身につける　～　社会で柔軟かつ力強く対応できる人間力の育成　～ （１）健康な体をつくる（体） ○体力強化と健康管理能力の育成（特に感染症予防の対策と実践）　○基本的な生活習慣・食習慣の確立　○部活動をとおして心身を強化 （２）学力を向上させる（頭） ○自主的に学習する習慣をつけさせ、思考力・判断力・表現力を向上　○「主体的・対話的で深い学び」「探究」の実践（新指導要領へ移行） ○学科・教科の特色を活かした「資格取得」の推進 （３）たくましい心を育む（心） ○困難や逆境に負けないたくましい心を育む（レジリエンス＝回復力を高める）。さらに、相手に対する思いやりの心を育む。 ○挨拶はコミュニケーションの第一歩。「心通う挨拶の励行」を推進　　作法：「相手の目を見て・爽やかに・大きな声で・会釈して」 ○規範意識・技術者倫理の醸成を図る。 （４）技を磨く（技） ○授業や部活で「技術・技能」を習得（「何ができるようになるか」）　ものづくり力の向上（理解する→反復する→身に付く→応用させる） ○安全教育、５Ｓ、ＫＹ（危険予知）活動の実践　○技術・技能の伝承（教師から生徒へ・熟練教師から若手教師へ）

【学校経営における目標と具体的な項目】

評価項目	目　標	具体的な項目	令和4年度 年間評価	令和3年度 年間評価
学校経営	学校の実態に即した目標が設定され 教師間の共通理解のもと、教育目標の具現化を図る。	三つのキーワード（ものづくり・資格取得・多様な進路）のもと「ひとづくり」を目指す	3.3	3.3
		各学年・各分掌の経営方針に学校の教育目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.2	3.2
		目標達成の度合いを年度中途で評価・確認する機会を設け、その後の教育活動に生かす。	3.2	3.1
	経営方針が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	学校の中期的なビジョンを検討し、教育活動を明確にする。	3.1	3.1
		各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	3.1	3.2
		教育目標や重点目標等を生徒・保護者・地域等に説明・広報する機会を設ける。	3.2	3.1

【教育活動全般における目標と具体的な項目】

評価項目	目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
教育課程の編成	創意工夫を生かした適切な教育課程の編成	学科や教科の教育目標の実現に向けて、創意を生かした特色ある教育課程を編成する。	3.2	3.3
		教育課程の実施に当たって、教育目標の達成状況を定期的に点検する。	3.0	3.2
教科指導	わかる授業の展開と工夫・改善	各教科・科目の学習方法を事前に生徒に説明する。	3.3	3.3
		基礎・基本の内容を重点化した指導を行い、基礎学力・基礎技術の習得の徹底を図る。	3.3	3.3
		生徒の実態に応じて指導方法や指導形態を変えるなど、授業の創意・工夫に努める。	3.3	3.3
	生徒の実態に応じて教材の精選や工夫、教具の活用を行う	生徒の実態に応じて教材を精選し、また教育機器を活用するなど指導の工夫をする。	3.4	3.4
		効果的な授業を実践するため、使用する教材や教具についての研究・研修をおこなう。	3.3	3.2
	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う。	担当教師間で評価基準を話し合い、共通理解のもとで評価をおこなう。	3.2	3.2
		定期考査の得点以外の観点も評価に加味し、生徒の多面的な能力を評価する。	3.3	3.3
		評価はその後の授業に還元し、評価と指導の一体化を図る。	3.2	3.2

【学　　年】

目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
第１学年 長崎工業生としての自覚を持ち、基本的生活習慣を身につけ、「実践力」を養う。	時間・規則厳守、挨拶・返事の励行、掃除の徹底を中心に、規律ある生活習慣を確立する。	2.9	3.0
	授業や定期考査、資格取得に真剣に取り組み、毎日1時間以上の家庭学習を確保する。	2.8	2.6
	仲間と協力しながら学校行事や部活動に積極的に参加し、社会貢献意欲を育成する。	3.0	3.0
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
第２学年 中堅学年としての自覚を持ち、規律ある生活態度を確立し、進路目標の具体化に努める。	自主的な学習態度を確立し、毎日１時間以上の学習時間の定着を図る。	2.6	
	学校行事や部活動に積極的に取り組み、困難や逆境に負けないたくましい心を育み、思いやりの心を養う。	3.1	3.0
	インターンシップや実習をとおして、規範意識・技術者倫理の醸成を図る。	3.4	3.3
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
第３学年 伝統ある長崎工業高校の最高学年としての誇りと自覚のもとに規律ある生活習慣の確立に努め、自己の進路実現を図る。	自らの進路の適切な選択とその100％の実現を図る。	3.4	3.7
	規律ある生活態度を確立させ、社会人としての基本的生活習慣を育成する。	3.4	3.4
	最高学年としてのリーダーシップを発揮し、学校を活性化させるよう努める。	3.4	3.4
	18歳成人にあたり、主権者として広い視野を持ち、成人として自覚をもった行動ができるように努める。	3.1	

【校務分掌】

		令和4年度	令和3年度
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
教務 日常業務の効率的かつ円滑な運営に努め、学力向上のため学習環境を整え、学校の活性化を図る。	各学年・分掌・教科・学科及び定時制との連携を密にする。	3.3	3.5
	諸行事等の精選を行い、授業時間の確保に努める。	3.1	3.3
	保護者との連携を強化し、各種活動を推進する。	3.3	3.4
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
生徒指導（生徒指導） 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を目指し、工業人としての基礎・基本の確実な習得と自ら学ぶ意欲・態度を育てる。	服装、容儀などについて生徒指導を中心に全職員で共通理解し、全職員で指導を行う。	3.3	3.4
	規範意識の向上を目指し、周囲へ配慮ができる生徒の育成を図る。	3.2	3.3
	問題行動の未然防止に努めると共に、情報モラル教育に力を注ぐ。	3.4	3.3
	いじめの発生防止に努め、いじめ見逃しゼロを徹底する。	3.2	3.6
生徒指導（環境） 地球温暖化防止や５Ｓ運動を踏まえた美化活動や環境対策活動の意識や実践力を高め、快適な学校環境づくりや環境にやさしい人づくりに努める。	環境美化意識を育成するために、必要な情報を提供する。	3.1	3.5
	清掃活動・ゴミ分別活動を徹底し、校内環境美化を推進する。	3.1	3.6
	省エネ・省資源活動を生徒と教職員が一丸となって取り組む。	3.0	3.3
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
生徒会 生徒会活動への参加を通じて、学校への帰属意識を高め、社会に貢献できる人物の育成を目指す。	生徒一人ひとりの生徒会活動への積極的参加と意識の高揚を図る。	3.1	3.1
	部活動を通して心身を鍛練し、学校生活の充実を図る。	3.2	3.4
	あいさつ・容儀・乗車マナー等、生徒の規範意識向上を図るため「高校生さわやか運動」を推進する。	3.1	3.2
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
図書 読書環境を充実させ、読書を通して自己の感性を育み、自分の考えをきちんと表現できる生徒を育てる。	図書室の利用者数を1日40人、貸出冊数月３００冊を目指す。	2.8	2.6
	月ごとにディスプレイを工夫し、安らぎと落ち着きのある読書環境づくりに取り組む。	3.5	3.9
	月ごとに図書便りを作成したりスタンプラリー等の企画を実施したりして、図書館の広報活動に努める。	3.5	3.7
	年間8回の「朝の読書だより」を作成し、「朝の読書」の充実を図る。	3.7	3.6
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
進路指導 生徒の自己実現に向け組織的・積極的な援助を行う。	年間を通じた進路指導の充実を図り、望ましい職業観、勤労観の育成を図る。	3.4	3.4
	自己の適性を把握すると共に、将来を見据えた主体的選択力、自己教育力の育成を図る。	3.3	3.4
	進路先に応じた実力の養成を図り、生徒の進路実現満足度100％を目指す。	3.4	3.4
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
研修 職員及び生徒の研修活動の充実と推進を図る。また、広報・情報分野の内容充実に努める。	職員の研修機会の拡大を図るとともに、授業力向上研修を推進する。	3.1	3.1
	生徒への人権教育・平和教育・ふるさと教育及び主権者教育を推進する。	3.2	3.2
	各学科・教科と連携し、生徒の資格取得・検定試験を支援する。	3.4	3.4
	学校説明会、オープンスクール、ホームページ等の広報活動を充実させ、本校の教育活動の周知・発信に努める。	3.7	3.5
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
保健（保健） 運動の生活化と健康の保持増進及び体力の向上を図る。	生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力の育成を図る。	3.0	3.4
	健康の保持増進のための実践力の育成を図る。	3.1	3.4
	関係機関（学校医・歯科医・薬剤師・育友会・SC・ＳＳW等）との連携をはかる。	3.4	
保健（防災） 教育活動全体を通じた防災安全教育を推進する。	災害発生時に活用できる能力の習得を図る。	2.7	2.9
	避難訓練の実施と防災計画の作成・実践を行う。	2.7	2.7
保健（相談） 生徒理解に努め、生徒の自己実現を支援する。	生徒をよく観察し、生徒との温かい人間関係の確立に努める。	3.3	3.5
	奨学金について保護者・生徒に周知徹底し、担任との連携を図る。	3.4	3.5
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
事務部 安心・安全・快適な教育環境の充実に努める。	生徒が安心して過ごせる安全で機能的な教育環境の充実に努め、省エネルギー・省資源活動を推進する。	3.8	3.3
	明るく働きやすい職場環境づくりに努めることで、学校内外の信頼に応える。	3.5	3.3
	対外的に説明できる適正かつ迅速な事務の執行に努める。	3.5	3.3

【学　　科】

		令和4年度	令和3年度
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
機械科 機械に関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、産業界が求めるタフな人材を育成する。	授業やものづくりを通して安全意識・改善意識を高めつつ技能の向上を目指し、タフさと品性を兼ね備えた人材を育む。	3.3	3.3
	各種資格・検定試験に積極的に取り組ませ、合格率８０％以上を目指す。	3.2	3.4
	進路指導を強化し、進路実現・進路満足度１００％を目指す。	3.3	3.5
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
機械システム科 基本的な生活習慣を身につけ、ものづくりを通し、専門の知識・技能を習得して実践力ある技術者の育成を図る。	あいさつ・言葉遣いなど基本的な生活習慣を身につける。	3.2	3.2
	ものづくりを通して技術・技能の向上を目指す。	3.2	3.2
	（電子機械コース）メカトロニクス技術の基本的技術の習得と応用力の向上を図る。 （造船コース）造船・海洋に関する基礎的な知識の習得と応用力の向上を図る。	3.2	3.4
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
電気科 将来の自己実現に向け、有能で人間性豊かな電気技術者を育成する。	電気分野における基礎学力の向上と充実を図る。	3.0	3.3
	ものづくりを通して実践的な技術・技能の向上を目指す。	3.3	3.5
	電気工事士の全員合格とその他資格・検定の複数合格を目指す。	3.0	3.4
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
工業化学科 工業人としてふさわしい実践的かつ人間性の高い化学技術者の育成を図る。	ものづくりを通して正しい技術者倫理を備えさせ、高い技術・技能を身に付けさせる。	3.1	3.0
	化学技術者に求められる資格（危険物、高圧ガス等）を取得させる。	2.9	2.7
	環境保全や再生可能エネルギーについての意識を高め、安全やSDGsに配慮できる技術を身に付けさせる。	3.0	2.8
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
建築科 建築物の設計や現場管理及び施工技術や技能に関する知識の習得を図る。	ものづくりを通して技術・技能の向上を目指す。	3.5	3.3
	実験・実習によって建築の知識を深め、設計や施工に必要な技術・態度を身に付ける。	3.4	3.3
	２級建築施工管理技士試験(第一次検定：学科)の全員合格(100%)を目指す。	3.8	3.7
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
インテリア科 インテリアに関する基礎的な知識と技術を習得させると共に、個々人の持つ能力を伸ばし、自己実現を目指す助力を行う	インテリア全般の基礎的な知識と技能を身につけさせる。	3.6	3.8
	資格取得や各種コンペ等の競技へ積極的に参加させ、各個人の能力や学習意欲を高める。	3.6	4.0
	生徒が自らを理解し、自立した生活ができるよう指導する。	3.6	3.8
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
電子工学科 進路の実現に向けて、学力の向上に努め、資格取得を通して専門性を深化させるとともに、環境問題や省エネルギーに配慮できる技術者の育成を図る。	実習やものづくりを通して技術・技能の向上を目指す。	3.4	3.7
	各種国家試験（無線技士・工事担任者等）・検定試験などの資格取得を図り、合格率80%以上を目指す。	2.9	3.3
	電子工学における基礎学力を確立し、専門性の向上に努め、環境問題に配慮できる、規範意識と勤労を重んずる技術者の育成を図る。	3.1	3.3
目　標	具体的な項目	年間評価	年間評価
情報技術科 コンピュータやネットワークに関する基礎知識・活用能力・応用力を育成し、急速に進化しているＩＣＴの分野で活躍する技術者を養成する。	ものづくりを通して技術・技能の向上を目指す。	3.6	3.8
	情報系の国家試験合格者２５名、その他の国家試験・検定試験の全員合格を目指す。	3.4	3.5
	情報に関する知識・技術の習得を通して、志望する進路の実現を目指す。	3.6	3.8

令和4年度　長崎県立長崎工業高等学校　生徒アンケート

評価内容		結果	参考	
			R3	R2
学校の設備・指導等について	施設・設備が整い、安全面での配慮がなされていますか。	3.2	3.3	3.3
	授業はわかりやすく、充実していますか。	3.1	3.1	3.0
	授業や実習、課題研究にしっかり取り組める環境が整っていますか。	3.3	3.5	3.5
	資格を取得するための体制が整っていますか。	3.5	3.6	3.6
	自分の希望する進路を実現するための体制が整っていますか。	3.3	3.3	3.4
	外部から講師を招いた授業や講話、工場見学、企業説明会、インターンシップ(2年次)などは有意義ですか。	3.5	3.5	3.6
	服装や髪型、生活態度についての指導は適切に行われていますか。	3.3	3.3	3.4
	生徒会活動は活発ですか。	3.0	3.0	2.9
	人権・平和について考える機会がきちんと設けられていますか。	3.2	3.2	3.2
	先生方は親身になって相談に乗り、必要に応じて適切に対応してくれますか。	3.3	3.3	3.3
生徒自身について	本校に入学して良かったですか。	3.3	3.4	3.4
	５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・躾）の実践に努め、身近な環境に対して関心を深めていますか。	3.3	3.4	3.4
	部活動に熱心に取り組んでいますか。	3.4	3.5	3.4
	学級の雰囲気が良く、楽しい学校生活を送っていますか。	3.4	3.5	3.4
	学校行事（体育祭、文化祭、競技大会等）は楽しいですか。	3.5	3.5	3.5
	食事・睡眠をきちんととっていますか。	3.2	3.4	3.3
	朝の10分間読書にきちんと取り組んでいますか。	3.3	3.4	3.4
	学校の図書室を利用していますか。	2.2	2.0	1.9
	平均	3.2	3.3	3.3

令和４年度　長崎県立長崎工業高等学校　保護者アンケート

評　価　内　容	評価	参考	
		R3	R2
本校は『長工で人生を生き抜く全ての力を身につける』のキーワードを柱とした教育活動に努めていると思いますか。	3.2	3.2	3.2
本校は学校の様子を保護者や地域によく広報（情報提供）していると思いますか。	3.1	3.0	3.1
本校は施設・設備が整い、安全面での配慮がなされていると思いますか。	3.0	3.1	3.2
本校の学校行事(体育祭、文化祭、競技大会など)は充実していると思いますか。	3.3	3.3	3.4
本校の部活動は活発だと思いますか。	3.4	3.4	3.4
学習内容（授業や実習など）は適切で、生徒の意欲や関心を高めるものとなっていると思いますか。	3.1	3.2	3.2
外部から講師を招いた授業や講話、工場見学、企業説明会、インターンシップ(2年生で実施)などは役に立っていると思いますか。	3.4	3.4	3.4
服装や髪型、生活態度等について適切な指導が行われていると思いますか。	3.3	3.4	3.4
人権・平和について考える機会がきちんと設けられていると思いますか。	3.1	3.2	3.1
希望する進路を実現するための体制が整っていると思いますか。	3.3	3.3	3.4
資格を取得するための体制が整っていると思いますか。	3.4	3.5	3.5
お子様は楽しい学校生活が送れていると思いますか。	3.3	3.3	3.3
教職員は親身になって相談に乗り、必要に応じて適切な対応を行ってくれますか。	3.2	3.2	3.2
学校から保護者への連絡は適切に行われていますか。	3.2	3.3	3.2
育友会活動（広報誌発行、文化祭参加、生徒との懇談会等）は活発だと思いますか。	3.2	3.2	3.2
平均	3.2	3.3	3.3

令和4年度　長崎県立長崎工業高等学校　学校関係者評価アンケート結果

項目	評　価　内　容	評　価
学校運営	『 長工で人生を生き抜く全ての力を身につける 』の重点目標のもと、特色ある教育活動に努めている。	3.3
	企業や大学、地域と連携し、その要望に応えた学校運営を行っている。	4.0
	施設設備の整備と充実、安全管理に努めている。	3.7
学習・進路	学習内容（授業・実習）は適切で、生徒の意欲・関心を高めるものとなっている。	3.0
	生徒が資格を取得をするための体制が整っている。	4.0
	生徒の進路実現のための取り組みが充実している。	3.3
学校生活	活気ある学校行事（体育祭・工業展等）の充実に取り組んでいる。	4.0
	部活動や「ものづくり」の充実に取り組んでいる。	4.0
	学校の雰囲気がよく、生徒の充実した学校生活につながっている。	3.7

※本校をさらにより良くするために、お気づきの点があれば御意見を御記入ください。

- 女子のための建設業体験学習会について、女子には不人気に見える分野において、その魅力を伝えていこうという試みに感銘を受けました。その他にも様々な素晴らしい活動を実施していることが資料から伺える中、普段の授業や学校生活の様子が見えてこない印象を受けました。生徒アンケートを掘り下げて何かに生かしていること等があれば聞いてみたいと感じました。

- 女子生徒の増加（インテリア科以外）を目指した活動をお願いします。

御協力ありがとうございました。